

カムチャッカ半島— 千島の火山

J. W. Hedenquist

(地質調査所 鉱物資源部)

Y. Taran

(ロシア科学アカデミー

火山地質・地球化学研究所)



1. (右)カムチャッカ半島東部火山帯、54°NのKarymsky火山の噴火口(標高1500 m)。過去215年間に20回の噴火があった。遠方はMaly Semalchik火山、その更に北方にはUzonカルデラがある。



2. (左)択捉島北東部、Moyoroカルデラ内のKudryavy玄武岩質安山岩火山の噴気活動。黄色(自然硫黄)の内側の噴気口内の約700、600°Cの所で、それぞれReとMo硫化物の昇華物が得られた(本文59-61頁参照)。